

AquaGlo G/C Direct

A100FLR-20X-RE(20倍濃縮), -1X(希釈済み)

Giardia lamblia/*Cryptosporidium parvum*検出用のFITC標識モノクローナル抗体です。IMS法などで分離した*Giardia* cysts や *Cryptosporidium* oocysts を染色することで顕微鏡観察が容易になります。

1. 製品情報

	A100FLR-20X-RE(20倍濃縮)	A100FLR -1X(希釈済み)
製品構成 (ウェルスライド・封入剤は含まれていません)		
抗体試薬 注1	1mL	3.5mL
陽性コントロール 注2	1mL	1mL
Antibody D/B Buffer (抗体希釈液)	20mL	-
No Fade Mounting Medium (封入液)	3.5mL	-
備考		
ウェルスライド法によるテスト数 注3	400テスト	70テスト
フィルター法によるテスト数 注4	40テスト	7テスト
その他	EPA IMS Method 1623 承認、EPA ICR filter procedure 対応	

注1 抗体試薬には、0.04% w/v アジ化ナトリウム(防腐剤)と1% BSA(抗体安定化剤)が含まれています。また、他種の *Cryptosporidium* oocysts と *Giardia* cysts にもいくらかの交差反応を示します。

注2 1%ホルマリン入りPBS1mLに、およそ50000 *Giardia* cysts / 100000 *Cryptosporidium* oocysts が含まれています。

注3 ウェルスライド法で1検体あたり50 μ Lの抗体試薬を使用した場合のテスト数です。

注4 フィルター法で1検体あたり0.5mLの抗体試薬を使用した場合のテスト数です。

2. 使用方法

1) 抗体試薬の希釈 **A100FLR-20X-RE(20倍濃縮)を使用する場合のみの操作です**

標識抗体試薬をAntibody Dilution/Blocking (D/B) Buffer 又は、他の中性緩衝溶液*で20倍に希釈してワーキング液を調製します。濃縮試薬及び、希釈済み試薬は冷蔵庫(4~8 $^{\circ}$ C)に遮光保存し、凍結させないように注意して下さい。希釈した試薬は、4 $^{\circ}$ Cで1ヶ月間安定です。

調製例: ex.1 試薬50 μ Lに950 μ LのAntibody D/B Bufferを加えて1mLのワーキング液を調製。

Ex.2 試薬1mLに19mLのAntibody D/B Bufferを加えて20mLのワーキング液を調製。

* ブロッキング剤として牛血清アルブミン(BSA)1%、正常ヤギ血清(NGS)10%、また防腐剤としてアジ化ナトリウムを含んでいる中性緩衝溶液を使用してください。

2) 染色

・ウェルスライド染色法の場合 弊社「Dynabeads ユーザーマニュアル」をご参照ください。

・フィルター染色法の場合

直径25mmのフィルター1枚あたり0.25~0.5mL(7~10 drops)の蛍光染色抗体試薬を滴下し、室温で40分、または37 $^{\circ}$ Cで30分間インキュベートする。

フィルターを2mLのPBSまたは生理食塩水で5回洗う。

グリセロール含有エタノールで脱水後、No Fade Mounting Mediumで封入し、カバーガラスをかける。

非特異的なバックグラウンドは、上記ブロッキング剤や、Evans Blue(0.1%)、Eriochrome Black(0.1%)などの対比染色剤、時には蛍光抗体試薬を更に2倍に希釈する事によって減少出来る事があります。

抗体試薬を保存中に、まれに非特異的な蛍光微粒子の形成が見られる事がありますが、これらは軽い遠心(900xg x 5分間)又は、0.22、0.45 μ mのフィルターを通して取り除く事が出来ます。

「Dynabeads ユーザーマニュアル」は、弊社HP <http://www.veritastk.co.jp/> の「技術資料PDF」からダウンロードできます。

株式会社ベリタス
〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目10-14
住友東新橋ビル3号館5階
TEL: 03-5776-0078 03-5776-0040 (技術サポート直通)
FAX: 03-5776-0076
E-mail techservice@veritastk.co.jp